

令和2年度川根高校 Q&A

学習について

Q: 授業についていけますか。

A: 少人数制で授業を実施しています。1クラス平均15人で、質問もしやすくきめの細かい指導が受けられます。選択科目の中には1人で、マンツーマンの授業もあります。また、近隣の中学校の先生とチームで教える授業もあります。積極的に授業を受け、家庭学習を行うことも必要です。

Q: 遠隔授業はどのくらいの頻度で行われますか。

A: 今年度は、1年生の普通クラスの化学基礎と、3年生の特進クラスの世界史を中心に、遠隔通信授業を行っています。

また、遠隔授業とは別に、不定期で静岡県内外の大学の先生の講義を聞いたり、静岡県への海外からの留学生や、修学旅行先である広島県の高校の生徒や、県立高校（伊豆総合高、土肥分校、浜松湖北高、佐久間分校）の生徒と交流しています。

Q: 特徴のある学習はありますか。

A: 川根をフィールドに、魅力や課題を発見し、地域の活性化を探究する「総合的な時間」

Q: 成績によっては、原級留置（留年）、退学がありますか。

A: あります。高校は義務教育ではないので、出席日数や成績によっては、原級留置（留年）ということもあります。一身上の都合により退学をする生徒はいますが、成績によって退学する生徒はいません。

Q: 新しい大学入試の対策は行っていますか。

A: 行っています。ポートフォリオ（高校生活での活動実績をまとめたもの）に取り組んでいます。また、英語の4技能を意識した授業や、主体的で対話的な深い学びのある授業を展開しています。その他、入試改革への準備を進めています。

部活動について

Q: 部活動は生徒全員が入りますか。

A: 入ります。本校では、生徒全員がいずれかの部活動に3年間継続登録することを原則としています。

Q: 部活動は平日何時に終わりますか。休日も活動していますか。

A: 部によって活動日は異なります。平日は午後7時までに終わります。休日にも活動する部活動が多いです。

Q: なぜ男子、女子で部活動を分けているのですか。

A: 高校生になると、男女で体格や体力等に差がついてきます。そのため、男女が一緒に運動するのは難しいと考える部活動については分けています。カヌー部は、個人競技であるため男女が所属しています。

Q: 運動部のマネージャーになれますか。

A: マネージャーの仕事だけをする部員は想定していません。どの部活動も生徒一人一人が選手であり日々活躍する部員です。

学校生活について

Q: 昼食はどうしていますか。

A: 給食を取ることができます。また、購買でパン等を購入することができます。

川根留学生、寄宿について

Q:連携中学校（島田市立川根中学校、川根本町立本川根中学校、川根本町立中川根中学校）出身の生徒も寄宿舎に入ることができますか。

A:できます。川根留学生と一緒に寄宿生活をする連携中学校出身者がいます。連携中学校出身者が寄宿生活をするには、現住所がどこかなどの条件があります。川根本町教育総務課（電話 0547-58-2555）に問い合わせてください。

Q:実家に帰ることができますか。

A:できます。週末、部活動や進学土曜補習等がある生徒もいるので、実家への帰省の回数は個人差があります。

Q:寄宿舎が閉まってしまう時期がありますか。

A:あります。3つの寄宿舎とも、年末年始（12月29日～1月3日）は閉鎖し、寄宿生は帰省します。

Q:寄宿生活で、病気になったときの対処法はどのようになっていますか。

A:原則として、保護者に連絡し対応をお願いしています。ただし、寄宿舎で、急な病気等で通院が必要な場合は、川根本町教育総務課の方が通院介助をします。その後は、保護者に引渡します。

Q:入寮を希望すれば必ず入れますか。

A:寄宿舎の個室は数に限りがあるため、入寮が叶わないこともあります。その際は、下宿や通学も視野に入れてください。

Q:寄宿生活はどのような様子ですか。

A:舎監さんの支援の下、寮長を中心に、毎日の生活を営んでいます。食後の皿洗いをしたり、入浴や洗濯を交代でしたりするなど、自分たちの力で生活することを学んでいます。また、食事の好き嫌いなどの偏食を見直す機会にもなります。集団生活ですので、自分のわがままは通りません。我慢を覚えることも大切なことです。一人暮らしは必ず人間的に成長します。

Q:学校の近くに、どんな建物、スーパー、銀行、駅などがありますか。

A:学校から徒歩5分圏内に、駐在所、消防出張所、郵便局、大井川鐵道駿河徳山駅があります。徒歩10分圏内にスーパー、コンビニエンスストア、農協があります。

寄宿舎についての説明や見学は随時受け付けています。

希望がある場合は、事前に川根高校 教頭（電話 0547-57-2221）に御連絡ください。

入学者選抜について

Q:合格するには、どのくらいの成績が必要ですか。

A:静岡県の入学者選抜は、中学校の調査書、学力検査、面接などを総合して合格者を決定するので、具体的な数字を言うことはできません。中学校の先生に相談して、受検する高校を決めることが大切です。

Q:中学校で不登校になりました。そのための対応はありますか。

A:川根高校は、不登校に対応するような特別選抜は実施していません。他の受検生と同じ対応になります。

川根高校は、確固とした目的意識と挑戦する決意がある生徒を一人一人丁寧に面倒をみています。出欠状況や学力、中学校での生活など、個々の事情があると思います。中学校の先生とよく相談してください。

入学者選抜や県外生徒募集に関わる御質問等は、川根高校 副校長（電話 0547-57-2221）までご連絡ください。